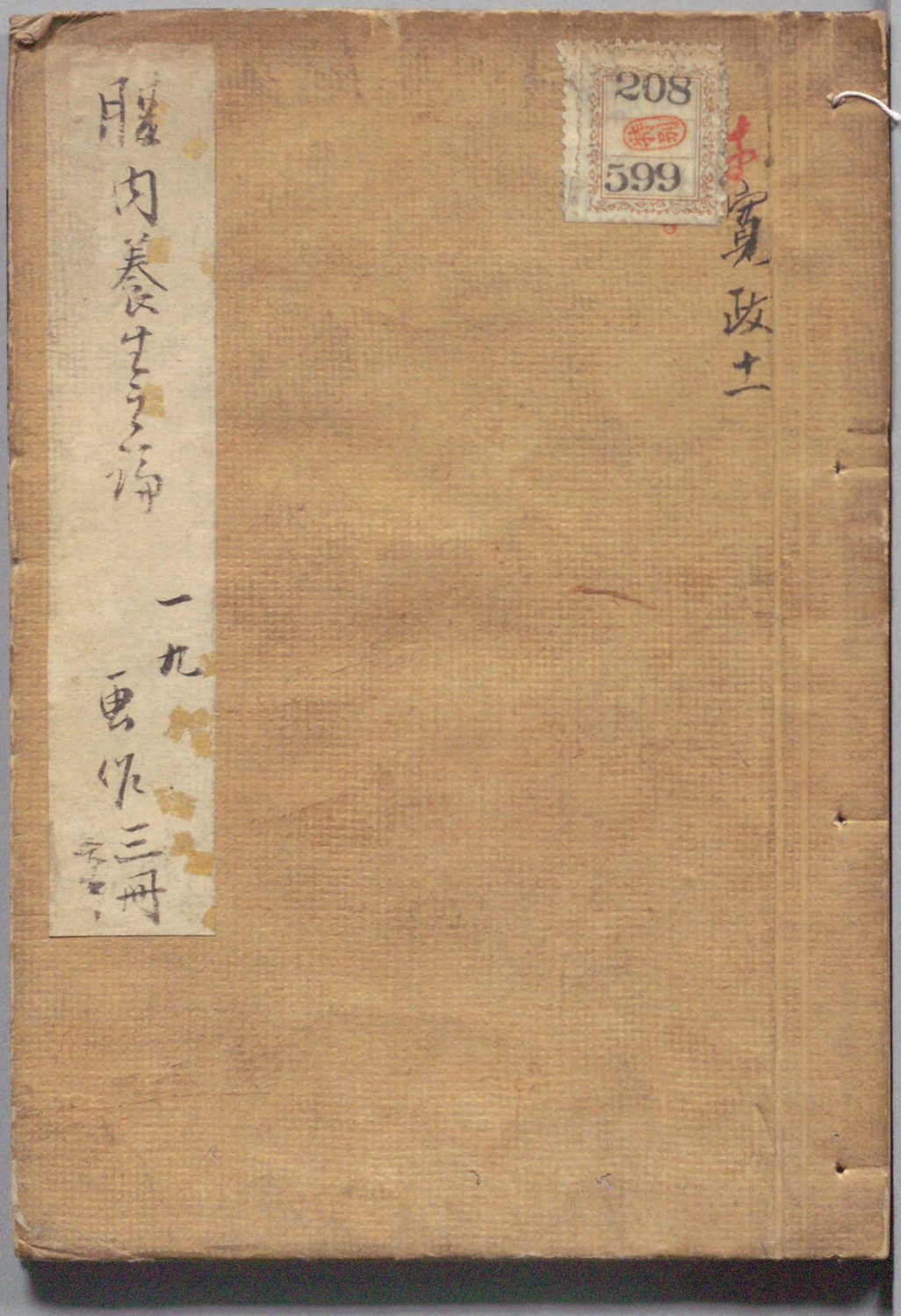


国立国会図書館　　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

飲食ハ身命ヲ養ヒ至宝ニシテ、社稷ノ本ヲ
ナス。手ヲ洗ヒ口ヲスヽギ、香ヲ焚キ牡丹ノ
ナドヽ飾リ、蚊ノ睫ノ如ク細根ノ海亀者夫、始ノ難ヲ
乃至ヲヤキ、酢乾玉ノ左録豆腐ノ如キ
ヨリ天下ノ人、死体ヲ以テ
男ヲ殺ス、病ヲ癒ス、
葉ヲ以テ、此ヲ掃ヒ
ヤウヤウニシテ生ノ
十偏舎誌

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

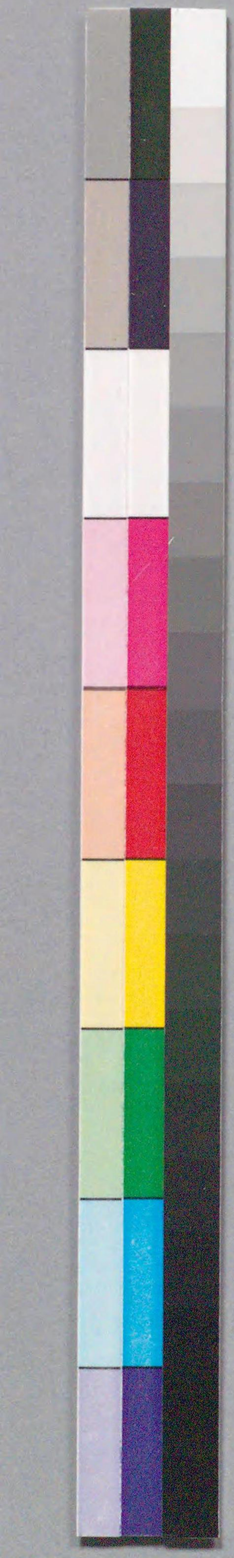
ガラス使用

ひのぞうぜんきをうーうのれがーんのぞうもせいきをさろろるるうぐどうぎいるうくてせいきをうんどうしれがぐんきかせんくるくくうのげぶをくものはつれてうくくるくちのきくくちもきてでみ

ろうがろんくのどうへひとめおろくとよこそくろうせさりぐいでぶんノばちちもきろうぐむのひろうれがそのくころくおちつけてうでぶざのちくよちぶざのろくくろうざてろでろもく

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用



国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

心之蔵

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

ひのぞうなあるくとくぐこえろ
あろのまくとくぐこえろ
くぜろあるくしくえろ
とろくろくねぐのろる
そのこえろつくこえろさん
ろれえとうくまくぐ
くちろぐくのさぐるあへ
こちろぐきろうと
ろちといまくめて
りろそれあへひのぞう
もぐえんぐ
とろのいろ
えろうの
うちの
太どんの
かりんもで死
ちぐよくめぐろて
とぐこえろぐそ
ひねもぐえんぐ
とろのいろれば
えんのぞうなもあ
うくさんよろりろるあへ
さぐぶろてあぐれ
あるきくやをけして
去まの又きもぐよへ

「ぐんぐ
あろぐえ
こえろ
まえそ

脾

「とりろも
あやまろ
ろうてくろ
とおそんで
くろるちさ

えそるをひ
いでさまくい
をうぐのえく
ろるそれよろ
ぐんきも
ぜのきも
ろくのぐくよ
こえろ
ろろえ
ちうちの
ぬくく
おさまろ
やまのは
さろねろ
ねきろ
えきろ
どこのろも
ぐえをえる
さろくやと
ろえこそ
めでされ

「これぐろんの
とくよろろの
ひヤあぐ

胃

腸

まてくよえるが
ひやげすくやげすフニャくく

鼻

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

208
別置
599

きんぐらいう人をそく
なぞとらくさきんぐ
とぐりくにてうくよお
よぶりのえおり
まてこせうのうさうく
くものこうとまさ
りくめんとそろこれ
すぐうりざのりくぐ
とーぐうぐこすが
いちりんもみきとと
ろようううりみけ
まるいうりぶのうろ
しやうるりくぐへ
とうくようりぐう
ざいうてうろうう
ろねまよまあうこ
ろうりやこうそぐえ
それがきんぐいれ
わのすへろうて
りくうう

ありぐらい

うさま
みぐいきんさてそうくる
もくいるみくあの
ううこうねをんよ
うんとんすうちぐうちそのとぐちより
よろづのようろうろれのづるより

一九作

自画

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用

国立国会図書館　腹内養生主論 3巻 208-599

ガラス使用